



UCカード

2015年6月26日
株式会社プリンスホテル
ユーシーカード株式会社

訪日外国人旅行者への対応強化を目的に

全国のプリンスホテルで多通貨決済サービスを開始

2015年7月1日(水)より順次導入

株式会社プリンスホテル（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：小林正則 ※以下「プリンスホテル」）は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 樋口一成 ※以下「UCカード」）と提携し、訪日外国人旅行者への対応強化を目的に、カード決済時に、決済する通貨を選択できる「多通貨決済サービス(DCC : Dynamic Currency Conversion)」の導入を開始いたします。「多通貨決済サービス」は、2015年7月1日(水)より、新宿プリンスホテルとサンシャインシティプリンスホテルを皮切りに都内ホテルより導入を開始し、全国のホテル、ゴルフ場、スキーチームへの導入を目指しております。

通常、訪日外国人旅行者がクレジットカードを利用した場合、円建てで決済し、為替レート確定後に自国通貨で換算された決済額がお客様に通知される形となっています。

今回、「多通貨決済サービス」を導入することにより、カード利用時に自国通貨での金額も提示され、円建てと、自国通貨のどちらかを選択することが可能となります。自国通貨での決済を選択した場合、その場で提示された金額で、請求額が確定します。これにより、為替レートの変動リスクを気にすることなく決済いただくことができると同時に、ビジネス利用のお客さまは、カード会社からの明細発行を待たずに、自国通貨で出張費等の経費精算が可能となります。今回の決済サービスの対象となるのは、Visa または MasterCard をお持ちのお客さまとなります。

観光庁は東京オリンピックが開催される2020年までに、訪日外国人数2,000万人を目指しており、2014年には、ビザの大幅緩和や消費税免税制度の拡充、国内企業におけるインバウンド事業への取組強化などの効果により、訪日外国人数は2013年の実績を300万人余り上回り、1,340万人を突破しました。今後、より多様な国々からの外国人旅行者の増加が見込まれるなか、今回プリンスホテルは、30の国・地域の通貨に対応した端末による決済サービスを導入することにより、訪日外国人旅行者の利便性の向上に努めるとともに、アジア、ヨーロッパに限らず、世界各国のお客さまの取り込みを図ってまいります。

■多通貨決済サービス(DCC : Dynamic Currency Conversion)とは

「多通貨決済サービス(DCC)」とは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国(海外)で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、確定した為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客様に通知され、利用額を支払います。DCCに対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客様へ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただることが特徴です。他にも様々な利点があり、例えば出張で来日したお客様は、帰国後カード会社からの明細発行を待つことなく、自国通貨で宿泊代等の経費精算を行うことができます。

■取扱い通貨

UAE (ディルハム)	アルゼンチン (ペソ)	オーストラリア (ドル)
ブラジル (レアル)	カナダ (ドル)	スイス (フラン)
中国 (人民元)	デンマーク (クローネ)	欧州連合 (ユーロ)
イギリス (ポンド)	香港 (ドル)	インドネシア (ルピア)
インド (ルピー)	韓国 (ウォン)	スリランカ (ルピー)
マカオ (パタカ)	マレーシア (リンギット)	ノルウェー (クローネ)
ニュージーランド (ドル)	フィリピン (ペソ)	カタール (リヤル)
ロシア (ルーブル)	サウジアラビア (リヤル)	スウェーデン (クローナ)
シンガポール (ドル)	タイ (バーツ)	台湾 (ドル)
アメリカ合衆国 (ドル)	南アフリカ共和国 (ランド)	ベトナム (ドン)

プリンスホテルの訪日外国人施策

プリンスホテルは、訪日外国人のお客さまの滞在時の満足度向上を目的とした取組みを強化し、Wi-Fiの整備拡張や多言語対応の強化など、さまざまなサービスの拡充を行っております。カード決済サービスにおいては、2008年より中国人のお客さまを対象とした「銀聯カード」の取り扱いを開始しており、このたびの「多通貨決済サービス」の導入により、多様な国のお客さまへ、サービスを拡大いたします。

UCカードの訪日外国人施策

UCカードは日本で初めて「多通貨決済サービス」ビジネスに参入し、日本で唯一となる2ndプロセッサーの採用により、国内アクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、複数種類の端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成するなど、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。また、銀聯と提携の上、銀聯カードの加盟店開拓を行い、現在5万加盟店まで拡大しております。今後も様々な業種での加盟店開拓を強化し、銀聯カードが使用できる環境の整備とお客様の利便性向上に努めてまいります。